

名前: 前田那由斗

I E T T E D

自分が極真空手を始めたのは1年生に入る前の春休みでした。知人の誘いで、自分はこの極真空手を始めることにしました。空手を始める前や始めてすぐに、空手は戦うイメージしかなく、心身の鍛錬が大事だと思わずに、練習を怠っていき、うちにのよくなる偏見もなく、体はむしろ弱いです。心かともきたえられたように思いました。もし自分が空手に入っていなかったら、立場が上の人への礼儀もできなかったと思います。そして心の中にあつた恐怖心も少なくなつたように思います。

自分は昔から入前に出ることはあまり好きでなかった。最初の試合のきんちょうと勝敗からくる恐怖心がとても大きなものでした。しかし、試合での勝敗の意味を極真空手を通して知り、実際は試合の経験を何度かする中で、きんちょうはするけれど恐怖心は少なくなつていったように思えました。

HP 掲載不可の場合のみレ点チェック

名前を伏せて掲載可

文章掲載不可

顔写真掲載不可

I E T T E D

このように恐怖は少なくなっているけれど、
また0になったわけではないので、
中学に入ってもこの極真空手を続けて
残っている恐怖心に勝っていきたいと思
いました。

また自分がここまで極真空手を続けてこれ
たのは先生方や道場生のみなさんのお
かげだと思っています。先生方や道場生
のみなさんありがとうございました。

今後の続けていく予定なのでよろしくお願ひ
します。